



# 二十六聖人

## 日本二十六聖人殉教者



いばらぎ  
聖パウロ茨木

7、弟レオ鳥丸と共に貧者、病人の世話をし、宣教に力を尽くす。死を前に「神よ、あなたに命をささげます」と祈った。  
54歳。尾張生まれ。

## 日本二十六聖人殉教者



ごとう  
聖ヨハネ五島

8、イルマン(死ぬ前にイエズス会への入会が認められた)。最後の時、自分のロザリオを父に渡した。19歳。五島生まれ。



## 巻頭言：一生を主のため

一生を主のため捧げた御母。お子様の行かれた道、共に歩みました。御母のみ心はいつもお子様にあり、イエス様のおられる所にいつも共におられました。十字架を担われた主について歩きつつ、極めの苦しみの中でも祈られました。主のみ旨のため、悲しみもこらえた、言葉では言い切れない御母の愛。【韓国の聖歌集より】

### 皆様は、お母様の香りを覚えておられますか。

わたしの母にもある香りがありました。それに気づいたのは母の晩年の事でした。母がまだ元気だったある時、わたしは実家に行って一日一緒に過ごしたことがありました。部屋は三つありましたが、二つの部屋は荷物でいっぱいだったので、とても疲れていたわたしは仕方なく母の部屋に入りました。そして、母の布団に枕を置いて、その布団の中で休もうとしました。その時、母の香りがしたのです。少しの汗と髪の毛の、いつの間にか年寄りとなった母の香り…がしました。今は思い出したくても、もう鼻先に少しだけ残っている香りです。それは、母の心の香りでもあるでしょう。その心で、母はいつもわたしと一緒にいてくれたはずです。それは、皆様のお母様も同じだったに違いないと思います。

**イエス様のお母様であるマリア様の香りはどんな香りでしょうか。**ただ、普通の母親の香りだったでしょう。夫ヨセフを支える妻として、また、わが子であるイエス様を育てる母として、マリア様はご自分の香りなど、気にする暇もなかったはずです。特にマリア様は、いつもイエス様のことを心配しておられたに違いありません。神様の独り子だとしても、マリア様ご自分の子でもあるか

らでしょう。イエス様はいつも多くの人たちに囲まれ、また、慕われていましたが、それでもマリア様はいつも心を込めて祈っておられたでしょう。そして時がきて、その多くの人たちがイエス様から離れ、そして叫びました。「殺せ、殺せ、十字架に付けろ。」と。その時から、マリア様は我を忘れたかのように、イエス様を追って走り始めたでしょう。そのマリア様の汗と涙の香り。それが、救い主の御母の香りだったのです。

**8月15日。**世の中的な平和ではなく、イエス様の平和がもっとも意味深くなる、その日。その日は、マリア様の被昇天の祭日でもあります。マリア様の被昇天の神秘を信じる教会は今、マリア様がすべての人の母であると告白しています。その栄光を受けられたマリア様は、香ばしく華やかな香りを漂わせておられるでしょうか。そうではないと思います。マリア様は、いまも、汗と涙の香りを放っておられるでしょう。それは、わたしたちがイエス様から離れることのないようにとひたすらに願う、マリア様の心の香りでもあります。愛と平和の御母マリア様は、いつもその香りの中で、わたしたちと共に歩んでくださいます。

主任司祭 ヤコブ 姜 真求



2024年7月 (7月7日開催)

### 【検討事項】

1. 9/15に敬老の集いを行います。今年は、実行委員会を立ち上げて集いを企画、実施します。皆様のご協力をお願いします。
2. コロナ禍で中止されたイベントを再開するよう目指していますが、納涼祭については今年の実施を見送ることにしました。
3. 熱中症防止のため、7/13からロビーに冷水給水機を設置します。
4. 持ち運びできる小型プロジェクタとスクリーンを購入します(約14万6千円)。教会学校用ですが、教会学校が使わないときは誰でも使うことができます。
5. アルミ製の小型軽量テント(2.5m×2.5m)を二台購入します(約2万2千円)。屋外イベントにご活用ください。

### 【報告・依頼事項】

1. 2階集会室の机レイアウトを変えたときは原状復帰するようお願い致します。パーティションを開けたときは閉めた状態に戻してください。また、親子室についても入口電灯スイッチ横に掲示してあるレイアウトに戻してください。
2. 車椅子の方などの送迎用車両のために前

庭聖母子像横を専用駐車場とします。ただし前庭でイベントがあるときは除きます。

### 【フリーディスカッション】

「教会バザーで目指すもの」「そのために何が必要か」をテーマにフリーディスカッションをしました。主な意見は次のとおりです。

「信徒同士の交わり、教会を知って貰うきっかけ作り。」「何か作ったり売ったりの役割があることで教会に行こうと思ひ、人との繋がりができる。」「スタッフとお客の出会いもあるが、スタッフの中での出会い、交わりという新しい視点も大切。」「一つのイベント、目標のために集まることに意味がある。」「バザーはお祭りでもある。お祭りが衰退した地域や教会は人が集まりづらくなって衰退してしまう。」「年末福祉献金を集めるために重要。」「準備のなかで仲良く騒ぎながら仲良く話し合える楽しいイベント。」

### 【その他の検討・報告事項】

#### 1. 典礼委員会

- ・8/1から毎月第1木曜日19時にベネディクション(聖体賛美式)を再開します。
- ・8/4から毎月第1日曜日10時ミサの中で水の祝別を行います。
- ・聖堂入口の聖水台を復活します。

## 2. 教会学校

- ・7/7 ミサの中で侍者入団式を行いました。
- ・8/3 に夏休みお楽しみ会を行います。参加費無料です。

## 3. キリスト教講座

7/28 10 時ミサ後に第 3 回フォローアップ講座を開催します。どなたでも参加出来ます。

## 4. 財務委員会

予算申請方法、活動計画書作成等の説明

## 5. 広報委員会 「二十六聖人」原稿依頼

## 6. 福祉委員会

- ・フードパントリーについて検討します。  
(フードパントリー：誰もが食に困ったときに無償で食の支給を受けられる。)
- ・横浜療育医療センターとの交流を再開します。これから日程を調整します。

## 7. 建物管理委員会

アルミ製軽量テント購入提案

## 8. 共同墓地委員会

6/16 に会議を実施し、墓地使用者管理名簿の情報共有、管理上の問題の対応策検討を行いました。

## 9. ヨゼフ会

- ・6/22～23 に練成会を実施しました。
- ・コーヒー光 7/14、7/21 実施予定。

## 10. マリア会

- ・活動実績

6/27 マリア会運営委員会第四回会議

パーティー係 7/6 会議、6/8 パーティー準備、6/9 パーティー  
アンナ会活動 6/10、6/24

ステラマリス帽子を編む会 6/21、6/27  
ポリビア支援グループ 6/29 ポリビアデイ準備、6/30 ポリビアデイ、7/5 会議

・今後の予定

アンナ会 7/8、7/22

ステラマリス帽子を編む会 7/19、7/25

ポリビア支援グループ 7/25

パーティー係 7/20、7/21

### 11. 青年会

8/17～18 に二俣川教会主催で中高生夏企画を行います。対象者は小 5 から高校生、参加費は無料です。費用の一部に充てるため 6/16 に修道院のお菓子を販売し、売上・寄付合わせて 31,730 円を集めることができました。皆様の温かなご協力に感謝します。

### 12. インターファミリー

9/29 難民移住者の日にあたり、アルペなんみんセンター事務局長 A. K. 氏の講演会を開きます。また、当日はミサでインターファミリーとして入閉祭の歌（外国語）、第二朗読、共同祈願を行います。

### 13. 一粒会

10/14 に松本教会で一粒会大会が開かれます。参加できない方のためにパブリックビューイングを計画しています。

以上



## 皆で祈りましょう

今月の祈りは「平和旬間」（8月6日～8月15日）に。

聖ヨハネ・パウロ二世教皇 は 1981年2月に 長崎・広島を訪問され、

「戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命の破壊です。戦争は死です。」と、日本語で語りはじめられた『平和アピール』の最後に祈りのことばを述べられました。

— わたしは自然と人間、真理と美の造り主である神に祈ります —

神よ、わたしの声を聞いてください。

それは、個人の間、または国家の間でなされた、  
すべての戦争と暴力の犠牲者たちの声だからです

神よ、わたしの声を聞いてください。

それは人々が武器と戦争に信頼をおくとき、いの一に犠牲者として苦しみ、  
また苦しむであろうすべての子供たちの声だからです。

神よ、わたしの声を聞いてください。

わたしは、主がすべての人間の心の中に、平和の知恵と正義の力と  
兄弟愛の喜びを注いでくださるよう、祈ります。

神よ、わたしの声を聞いてください。

わたしはすべての国、またすべての時代において戦争を望まず、  
常に喜んで平和の道を歩む無数の人々にかわって、話しているからです。

神よ、わたしの声を聞いてください。

わたしたちがいつも憎しみには愛、不正には正義への全き献身、  
貧困には自分を分かち合い、戦争には平和をもってこたえることができるよう、  
英知と勇気をお与えください。

おお、神よ、わたしの声を聞いてください。

そして、この世にあなたの終わりなき平和をお与えください。

(広島にて 1981年2月25日)

(「教皇ヨハネ・パウロ二世 広島『平和アピール』  
カトリック中央協議会 より)



## ほっとピックス

### 『侍者団入団式』

7月7日、侍者団の入団式がありました。6月に初聖体を受けた子どもたちが揃って侍者奉仕を希望し、触発された兄弟姉妹も含めて8名が入団することになったそうです。この日は5名の子どもたちでした。神に感謝！



子どもたちが侍者の奉仕をはじめるとあって、入団式を行うことは初めてのことでしたが、「皆さんは、神様の御言葉である聖書を熱心に読み、それを実践することを約束しますか？」「はい、約束します！」など、こころ新たに少し大人のように約束をする子どもたちの小さな背中を見守ることが出来、幸せでした。彼らを相応しく助け、守り、育んで行きたいですね。

入団式の祈りは、子どもたちのための祈りでしたが、それはまさに私たちに向けられた祈りであるとも感じました。「家庭でも学校でも教会でも、あなたの召し出しを忘れることなく、誠実に生活することができますように。」「父と子と聖霊が共に働かれるように、この大事な務めを通して子供たちが、一人ではなく、みんなで働くことを学ぶことができますように。」また、「あなたの愛を学び、互いに愛し合う子供として成長していくことができますように。」といった内容でした。とても基本的なことですが、日常の中で私たちも、彼らのお手本になれるように精進しなければ！と思いました。



★『ほっとピックス』のコーナーが復活しました。二俣川教会内外の心温まる出来事を紹介して参りますので、ご期待ください。

### 『お祝いと納涼パーティー』

7月21日、姜神父様の叙階記念と霊名のお祝いが行われました。ごミサの中で共同体からの向日葵の花束と、教会学校から「友だちになるために」の、歌のプレゼントがありました。ミサ後のお祝いパーティーは、神父様のご意向で「納涼パーティー」として催され、みんなでパーティー係さんが趣向を凝らして準備して下さったお食事を囲みながら、和気藹々と交わりの時を持つことができました。



# きょうかいがっこうだより

カトリック二俣川教会 教会学校  
2024年8月

【8月～9月の予定】

- |            |                       |
|------------|-----------------------|
| ・8月3日      | 夏休みお楽しみ会              |
| ・8月17日～18日 | 二俣川教会主催 夏企画（小5～高校3対象） |
| ・9月1日      | クラス（2学期始業）            |
| ・9月8日      | 侍者会                   |
| ・9月15日     | クラス                   |

※8月3日の夏休みお楽しみ会は二俣川教会で行います。  
来月号でお楽しみ会の報告をさせていただきます！

## ●クラス紹介 ～中高生会編～

中高生会はその名のとおり、中学1年生～高校3年生までのクラスです。中学、高校生は勉強、部活、バイトなど土日也大忙しですが、教会でも侍者や下級生のお世話など、教会学校のお兄さん、お姉さんとして活躍してくれています！

最近では教会学校に参加できる中高生も少なく、小学生と合同でクラスを行っています。青年とのコラボでイースターの卵配りやお餅の配布のお手伝いしたり、小教区外でも第三地区中高生会のイベントに参加したりして、他教会のなかまとも交流しています。



## ●中高生インタビュー

教会での一番の思い出は、保土ヶ谷教会へ遠足に行ったことです。他教会のバザーに参加できてよかったです。最近ではポリビアデーで食べたポリビアのご飯がとてもおいしかったです。二俣川教会の皆さんは明るくていつも楽しいです。

中学2年生 ルチア K. A. さん



## ヨゼフ会錬成会報告

コロナ禍を越えて、昨年よりヨゼフ会は錬成会を再開することができました。本年も1泊2日で会員の親睦をはかる目的で会を企画。常宿の箱根の保養所に13人を集めました。

本年の錬成会は二段構え。まず、第一段目は昨年、招請致しました森山神父からカトリック二俣川教会ヨゼフ会への手紙“神の作品としての人生 高齢を生きる「人生美術館の展示品」として”という書簡を頂きました。「24時間営業（コンビニのように 消防署のように）」をモットーにと、気概十分に取り組まれていた森山神父が本年、傘寿を迎えられて、人生の振り返りとして書かれたものです。以下、一部を御紹介致します。

・・・一人一人の人生を振り返ると、「人生を神様と人間の共作の芸術品」として表現することも出来るのではないかと思うようになった。・・・高齢期をいかに過ごすかは、高齢化社会の大事な課題ではあるが、「する」ということではなく、「ある」という姿の中に「存在の意義」を見つめながら時を過ごしたいと思う。・・・現実の世相を見ると、希望を無くし、絶望に陥ることがある。このような中では、今の存在を「神と共に作成した作品」として、「日々満足していきること」「存在すること」が大切ではないだろうか。それが信仰だろう。・・・

二段目は以前二俣川教会主任司祭をされていた李神父が小田原教会に赴任されたことから、夕食後の懇親より参加頂き、懐かしい思い出話を絡め、翌日は小田原教会でミサに与る事となりました。小田原教会の建物は1931年献堂、戦災を逃れまさに傘寿を越えた歴史ある教会でした。李神父の温かみのある説教も懐かしく、二俣川よりは一回りコンパクトな教会ですが、地域の温かみのある教会でミサに与る事ができました。ただ、前年訪問させていただいたシャルトル聖パウロ修道女会強羅修道院のシスターたちが小田原教会でミサに与っていたとの事ですが、本年この強羅修道院は閉院となり、再会を約束していた事を思い出すと、少し残念な気持ちになりました。

ミサ後は李神父に信徒の皆様にあい拶の機会を頂き、教会委員の方々には茶話会を開いて頂きました。短い時間ではありましたが、歴史ある建物の維持の難しさ、高齢化が進む教会の運営についても価値あるお話を頂きました。李神父と小田原教会皆様には、お近くにお越しの際は、気兼ねなく二俣川教会にお立ち寄りくださいと願い、感謝のうちに帰途につきました。

本年もヨゼフ会の錬成会を開催できたことは、今後の活動の原動力となると信じています。



来年は広い世代に参加を促し、また変わった形の錬成会を試みたいと考えております。

神に感謝 ヨゼフ H. K.





6月30日に5年ぶりとなる「ボリビアデー」を開催いたしました。ボリビアの子どもたちの支援を始めてから、今年で19年目になります。今年は、234,000円の献金を捧げることができました。これも「のんびり日曜日」で、ジャムや手芸品を、教会の皆さまがご購入くださったお陰です。ご理解とご協力に深く感謝いたします。

今回は子どもたちにもボリビアの事を知って欲しいなと思い、教会学校に赴き、この活動について説明しました。横浜からボリビアまでは、飛行機に41時間乗らないといけないという情報に、「飛行機でお泊まりしないといけないんだね。」と驚いている子もいました。

ミサでは、共同祈願もいたしました。そして派遣の祝福の前に、シスターからのお便りを代読しました。私たちの支援がボリビアに届き、子どもたちに役立っている事が皆さまにも伝わったと思います。

ミサの後には、ボリビアのパーティー料理「チョリジャーナ」を販売いたしました。皆さまは2階で食事を共にして、楽しいひと時を過ごされていました。皆さまの笑顔に、私たちも嬉しくなりました。用意した50食はあっという間に完売してしまいました。手作りジャムや手芸品、ボリビアの民芸品などもたくさんご購入いただき、感謝いたします。

これからも信仰に基づく支援活動を続けていきたいと思っています。ボリビアデーを通して、皆さまがボリビアの子どもたちに心を寄せて下さると嬉しく思います。

マリア会 ボリビア支援グループ K. A.



● 典礼に関して、コロナによって取りやめていた3つのことが再開されます。1つ目はベネディクション（聖体賛美式）、毎月第1木曜日ということですので、再開初日は8月1日の19時からです。2つ目は、聖水です。聖堂入り口に再び設置されました。小さな子どもたちや車椅子の方にも手が届くよう、低い位置の聖水が新設されました。（当面はごミサの時だけ設置されてミサ毎に入れ替えられ、使用は個人の判断に任せられています）3つ目は、水の祝福です。毎月第1週目の主日メインのミサの中で行われます。

● 二俣川教会の前庭(マリアガーデン)にあるソテツですが、10年に1度しか咲かないという“花”が今、咲いています。これはとても珍しいことのように。因みにソテツには雄花と雌花があるのですが、教会で咲いているのは雄花です。どうぞご覧になってください。



● 7月10日(水)、猛暑の中、横浜マックの皆さんが草むしりに来てくださいました。年末福祉献金の献金先団体の1つでもあります。今回、労働奉仕をもってお礼の気持ちを示してくださいました。

● 事務所の体制が変わって3か月ほどが経ちました。特に日曜日には多数の方が諸々の用事で事務所を訪れますが、なるべく混雑を避けるように皆様で協力していきましょう。窓口時間などは「今週のお知らせ」や教会HPでご確認ください。

\*\*\*\*\*



### ひとこと寄稿募集：「あなたにとって守護の聖人とは？」

毎年7月、神父様は守護の聖人を大切にお祝いすることを教えてください。それは、自身の洗礼を思い起こし、初心に返って歩いていきましょう！という招きのためのお祝いでした。皆さんにとっての守護の聖人とはどんな存在でしょうか？この機会に考えてみるのはいかがでしょうか？

募集内容：あなたにとって守護の聖人とは？（ひとこと～50字程度）

募集要項：今週のお知らせや、ロビーのポスターをご覧ください。

\*\*\*\*\*

### 「編集後記」

コロナ禍で中断されていたことが次々と再開され、今号でもたくさんお伝えすることができ、嬉しいです。人やモノとの距離を離さざるをえなかった期間にも、各々の場で、神様と心の距離が離れないよう努めていましたが、やはり集って共に歩んでいることを感じるとき、共同体の温かさを改めて感じました。『二十六聖人』では今後も私たち教会の「歩み」を紙面とHPでお届けしていきますので皆様にご協力をお願いしたいと思います。（A. K. 記）